

科目名	日本語学	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	佐々木 香織	実務経験の有無		○	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-2-340001	国際学部C：新潟の地域社会にあつて学術的素養を日々に活かす方法をたえず摸索する強い意欲をもち、これを具体化していくための社会関係構築能力を獲得していること			
授業の目的	<p>国際社会に必要な知識を身に付けます。</p> <p>様々な資料を利用して、日本語に対する内省力、分析力を高め、日本語自体と、日本語が使われているこの社会の関係を見つめ直す作業を通じ、日本語に対する自分なりの考えを持つことが最大の目的です。また、読み、書き、話し、聞くという日本語の4技能の向上も目的とします。評価は相当に難しい期末テストのみです。（オンラインになった場合は、課題など別の方法で評価します。）出席はとりませんが、指名して発言を求めるとも頻繁にあります。障害等の関係で、ノートパソコンでしか、授業のノートをとれない学生は、学期はじめに佐々木に連絡した場合のみ、ノートパソコンの利用を認めます。（ただしオンライン授業になった場合は除きます。）また学生からの要望があれば、適宜シラバスに書かれていないことも扱います。要望がある場合は、直接コメントカードなどで積極的にお知らせください。</p> <p>予復習に必要な時間数→講義科目は2時間ずつ。語学演習は1単位につき、30分ずつ。</p>				
学修到達目標	日本語について、どのような言語であるか自分なりの説明ができ、社会における日本語の役割、課題が見いだせるようになること。また言語コミュニケーションを通じて、自由で平等な、差別のない、開かれた多文化共生社会を築くための方法をさぐっていけるようになること。				
実務経験との関連性	国際交流基金シドニー日本人文化センターでの教員研修や講座運営などの経験を活かした指導。 ボランティア団体の代表としての経験、外国人住民を対象とした相談員としての経験を活かした指導。 外国につながる子どもの日本語指導協力者としての経験を活かした指導。				

授業計画	
第1回	1. 日本語のプロフィール：日本語はどんな言語か、「日本語」を学ぶ意味は何か、考える。
第2回	2. 日本語の多様性：地理的、歴史的な位相について考える。
第3回	3. 「標準語」、「共通語」、「方言」とはなにか。「新潟弁」の特徴について考える。

第4回	4. 「言葉の正しさ」と「日本語力」について考える。
第5回	5. 日本語の歴史的変化1（上代）：万葉仮名の世界 万葉仮名の解読に挑戦する。
第6回	6. 日本語の歴史的変化2（中古）：平安、鎌倉期の日本語について考える。
第7回	7. 日本語の歴史的変化3（中世～近世）：・狂言の鑑賞と、ポルトガル式ローマ字で書かれた日本語の解読に挑戦する。
第8回	8. 日本語の歴史的変化4（近世）：日本語の近代化。変体仮名の解読に挑戦する。滑稽本を読んで江戸を感じる。
第9回	9. 日本語の歴史的変化5（近代・現代）：近代国家と「国語」の成立
第10回	10. 現代日本語の音声・アクセント・イントネーション
第11回	11. 現代日本語の語彙
第12回	12. 現代日本語の文法・基礎編
第13回	13. 現代日本語の文法・応用編

第14回	14. 日本語の談話分析 批判的読解のすすめ。
第15回	15. 日本語と社会・世界 同化圧力と「異化」作用の狭間で、「やさしい日本語」の可能性を探る。
第16回	テスト（記述式。提示された資料について授業で学んだことを踏まえた上で自分独自の考察をわかりやすく説明できたかどうかで評価。暗記ものではない） オンラインになった場合は変更する可能性もあります。

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	予習は約2時間、事前に、関連の資料を紹介するので、目を通しておいたり、各自で調べておいたりする。 予習時間には個人差があります。
【復習】時間・内容	復習は約2時間。講義で紹介した書籍や資料を読んだり、各自で解説を続けたり、わからなかった点を調べたり、質問したりしてください。 復習時間には個人差があります。

成績評価	
評価基準・方法	毎回、コメントカードにコメントを記入してもらいます。質問や問題提起は大歓迎です。成績には関係ありません。出席はとりません。期末試験の成績だけで評価します。期末テストは、何かを暗記する必要はありませんが、講義を聞いたことをふまえて、自分で考えたことを答える形式の問題です。（オンラインになった場合は、変更するかもしれません。）
フィードバック方法	答案返却の希望があれば、添削して返却します。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク／実習、実技、実験、フィールドワーク

教科書/参考書	<p>必読教科書は、Amazonでのみ販売の『未来をつかむサバイバル 元「外国につながる子ども」奮闘記』（佐々木香織著）です。同内容の中国語版もあります。中国語で読んでみたい人は『探求未来生存之路 一八位日本移民児童的?斗故事』も同じ値段で買えます。（インタビュー集なので、口語の中国語を勉強するのにいいと思います。どちらか1つ読めばいいです。）</p> <p>以下は、一読をお勧めする参考文献です。『日本語(上・下)』金田一春彦(岩波新書)、『標準語の成立事情』真田真治(PHP文庫)、『国語元年』井上ひさし(新潮社)、『日本語ウオッチング』井上史雄(岩波新書)、『日本語は年速1キロで動く』井上史雄(講談社現代新書)、『日本語の歴史』山口仲美(岩波新書)。『多民族化社会・日本』渡戸一郎他編著(明石書店) 『識字の社会言語学』かどやひでのり他編(生活書院)、打浪文子【著】『知的障害のある人たちと「ことば」』(生活書院)、有田佳代子他『多文化社会で多様性を考えるワークブック』(研究社)、あべやすし『ことばのバリアフリー』(生活書院) デラルド・ウィン・スー 『日常生活に埋め込まれたマイクロアグレッション—人種、ジェンダー、性的指向:マイノリティに向けられる無意識の差別』(明石書店)</p>
受講上の留意点等	<p>言語学を履修していることが望ましいです。また、日本語、外国語に限らず「言語」そのものや社会問題について興味のない人には、おもしろくないと思います。文学や「語源」、「正しい言葉遣い」、「敬語の使い方」には、ほとんど言及しません。特に1年生で受講を考えている方は、高校の現代文や古典のような「国語」とは内容が全然違うので、気を付けてください。グループで作業・討論することがあるかもしれませんが、初対面の人との協同作業や会話ができない方の受講は厳しいと思われるかもしれません。また、受講マナーの悪い人が近くにいたら、学生同士で注意しましょう。教師を含め周りの人に頼らず、自分の学習環境は自分で良好に保つこと（見えないときは、見える所へ移動したり、佐々木に言ったり、冷暖房のスイッチのオンオフなど）も能力の一つです。</p> <p>文科省によると、大学の授業は1回につき予習復習などに4時間程度（！）かかっていると考えて単位が出るのだそうです。（そういうことしておきますがwww）</p> <p>オンラインになった場合は、グループワークなどはできない可能性があります。内容や授業の進め方も変更になるかもしれませんので、あらかじめご了承ください。</p>
JABEE	